

○ 時を守り ○ 場を清め ○ 礼を正す

木屋瀬中学校
木屋瀬小学校
星ヶ丘小学校

小中連携だより

No.5 発行者 木屋瀬中学校区小中一貫・連携教育推進員 川野修一

特集 七夕(たなばた)に願いを・・・

7月7日は七夕ですね。七夕の物語は皆さんも知っていると思います。いろいろ説があるようですが、天の川の東にある牽牛(けんぎゅう)星と西にある織女(しょくじょ)星が出逢うので、それを祭る行事が中国から伝わってきたものであり、この夜、庭先に供え物をし、葉竹に五色の短冊をつけ、子どもたちの学問・技芸の上達を願う行事をするというものです。【参考資料 (株)朝日新聞出版発行「とっさの日本語便利帳」】



みんなの中にも、いろいろな願い事を短冊に書き込めた人も多いのではないのでしょうか。中学校でも、一年生が七夕づくりをしています。

「勉強ができるようになりたい」とか「部活で勝ちたい」「プロ野球選手になりたい」「世界の平和が続きますように」などの願いを書いている人がたくさんいます。本当にかなうといいですね。みんなはどんな願いをこめますか？

でも、夢や望みをかなえるには、まずは「自分が努力する」ことが大切ですね。

「失敗しても、くじけそうになっても、あきらめず何度も何度も挑戦し続けることができる人になってもらいたい」・・・これが私のみんなへの願いです。

余談ですが、私は鹿児島県の小さな田舎町の生まれです。3歳の時に、家族で八幡市(現在の北九州市八幡西区)に移り住んだとのことですが、夏休みになると毎年、母に連れられ里帰りしていました。鹿児島ではこの七夕の時期の前後に「六月燈(ろくがつとう)」と呼ばれるお祭りが地域ごとに盛大に行われています。私の田舎では夏休みに入ってすぐの時期でした。

私のふるさとの「六月燈」では、古くから受け継がれる伝統の「水車からくり」、が有名です。用水路の水車の動力で大きな人形を動かします。

また、道の両側には、「金魚すくい」やいろんな「おもちゃ」や「食べ物」を売る露店がたくさん軒をならべており、そんな風景をみながら、浴衣を着て歩くのが本当にたのしみでした。

もう50年以上も前の話ですが、七夕が近づくと毎年思い出します。



「夏休み」へのこころがまえ



も〜いくつ寝ると♪・・・、で始まるのは瀧 廉太郎作曲の「お正月」ですが、いまの君たちの気分は「も〜いくつ寝ると『夏休み』」ではないでしょうか。

花火大会、旅行やキャンプ、プールに行くなど楽しみな計画が進んでいる人も多いのではないのでしょうか。

でも何より一番怖い(こわい)のは事件や事故ですね。新聞などで、小学生や中学生が川でおぼれたり、山で遭難(そうなん)したり、交通事故にあったりなどのニュースをよく見聞きします。自分だけは絶対に起こさない、巻き込まれないと思っている人がいるかもしれませんが、誰一人として事件・事故を起こす、巻き込まれるとは思っていませんね。

何より、安全で楽しく、有意義な夏休みにしてほしいものです。

そこで、この休みの間、次のことを心がけてみてはどうでしょうか。そして二学期からの学校生活に備えましょう。

1. 時を守る

- 毎朝、決まった時間に起床する。
- 朝の比較的涼しい時間に、計画的な勉強をする。(学校の宿題は最低限の勉強)
- 遊びに出かけても、決められた時間には必ず帰宅する。
- 毎晩、決まった時間に就寝する。

2. 場を清める

- 家の掃除の手伝いをする。
お風呂場やトイレなど、自分たちでは普段あまりやらない場所の掃除をする。
- 部屋を片付ける。

3. 礼を正す

- 家族はもちろん、近所の人に会ったら積極的にあいさつする。
- 呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事する。
- 履物(はきもの)をきちんとそろえて家にあがる。
- 洋服などは、きちんとたたむ。



これ以外にも家の手伝いをはじめ、できることはたくさんありますよ。ぜひ挑戦してくださいね。

学校生活をチェック!

—1学期の学校生活をふりかえってみよう—

- 毎日、遅刻せずに登校できた。
- 一生懸命毎時間の勉強に取り組んだ。
- 忘れ物はなかった。
- 掃除をきちんとできた。
- 「おはようございます」などあいさつがきちんとできた。
- 「はい」と大きな声で返事することができた。
- 毎日きちんと家庭学習に取り組むことができた。
- 毎日、健康で元気に過ごすことができた。

もし、できていないことがあったら、その部分を一学期残りの課題として、残りの2週間の学校生活を充実させましょう。